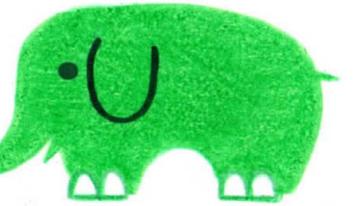


ぱおぱお ニュース



< 病気の豆知識 >



今月は…『インフルエンザ』です

東京は昨年と比べて一ヶ月以上早い流行シーズンとなり2023年以来2年ぶりです。今後本格的な流行が予想されるため、こまめな手洗いや消毒、換気その他マスクの感染対策が大事になってきます。

また、これに備えるためには、インフルエンザワクチンの接種が最も効果的です。もしかかってしまったとしても重症化を防ぐことができるのでおすすめです。



< インフルエンザの典型的な症状の経過 >

突然の高熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感などに始まり、遅れて鼻水、咳、嘔吐、下痢などが現れます。数日で熱は下がりますが、再び発熱することもあります。一週間を過ぎると症状も落ち着き、ほとんどの方が軽快していきます。

< ホームケアのポイント >

- ・熱があり食欲のない時はイオン飲料などの水分だけでもしっかりととりましょう。
- ・高熱のときでもゼリーやプリンを食べやすいようです。
- ・食欲が出てきたら消化がよく口当たりのよいものを少しずつとりましょう。
- ・水分もとれず、おしっこが減ってきたら受診をおすすめします。
- ・入浴は寒気があったり、ぐったりしている時は避け、入浴する場合も短時間にしましょう。
- ・安静と十分な睡眠はとても大切です。



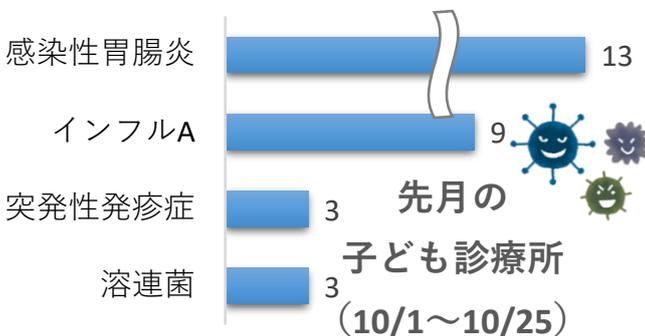
< 登園登校のやす >

出席停止期間は、以下のように決められています。

『発症後5日(発症日は0日)を経過し、かつ、解熱後3日(小学生以上は2日)経過するまで』
熱が下がっても3日経過するまでは家庭内で安静に過ごし、外遊びは控えましょう。

* ぱおぱお入室時、
インフルエンザA型とB型は
同室となります。ご了承ください。

< 感染症情報 >



子ども診療所では…

- ・インフルエンザが流行してきました。
- ・インフルエンザのワクチン接種がまだの方はお早めにご予約下さい。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・先月に続き、胃腸炎のお子さんや、咳の多いお子さん溶連菌、突発性発疹症のお子さんが入室していました。



< 絵本の日 >



《11月30日は絵本の日》

絵本の日とは、子どもの想像力や感性、言葉を覚える力を養うことを目的として制定された「絵本を楽しむための記念日」だそうです。

絵本を読むことは、子どもが本の世界観や登場人物の気持ちを考えたり、いろいろな言葉を覚えたり、さまざまな能力が育まれるよい機会となりますね。

《絵本の日由来》

絵本の日は、医療法人が文化事業を通して、子どもの心身の健康の創造を図ることを目的に制定した記念日です。また、日づけが11月30日とされている意味は、児童文学作家が執筆したある本の出版日にちなんで定められたといわれています。

この本には、絵本を読むことが子どもが言葉を理解したり、物事に好奇心をもったりする機会になるよう、よい絵本を読んでほしいという願いがこめられているようです。

《秋の絵本紹介》

『さつまのおいも』（作：五味太郎）

五味太郎さんらしいユーモア溢れる絵本で、さつまいもの様々な食べ方が紹介されています。天ぷら、大学いも、スイートポテト…おいしそうな料理の数々に、子どもたちもきっとお腹がすいてしまうでしょう。

さつまいもがどんな風に料理されるのか、イラストを見ながら楽しく学ぶことができます。食への興味を広げ、好き嫌いなく食べることの大切さを伝えるのにも役立ちます。皆さんも好きな絵本を探してみてくださいね！



<お知らせ>

来年度（2026年度）から登録利用要件が一部変わります

2歳以上 MRワクチン（麻疹・風疹）1回 接種がお済みの方

小学生以上 MRワクチン（麻疹・風疹）2回 接種がお済みの方

3歳以上 水痘ワクチン2回 接種がお済みの方 ← 2026年度 変更点



お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお 042-521-2777



新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお(月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777

